

株主・投資家の皆さまにおかれましては、ますます
ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は小田急グ
ループに対するご愛顧を賜り、厚く御礼を申し上げます。

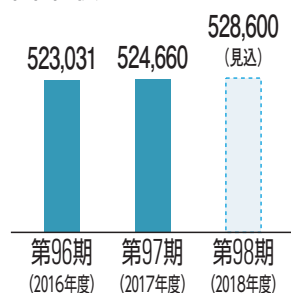
第97期の業績および当社グループにおける取り組み
につきましてご報告申し上げます。

取締役社長 **星野晃司**

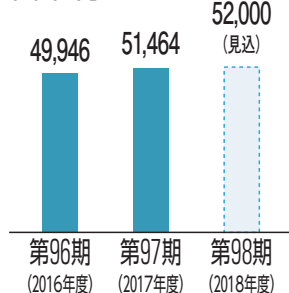


連結業績ハイライト (単位：百万円)

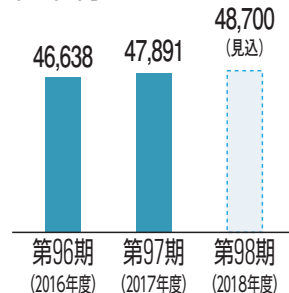
営業収益



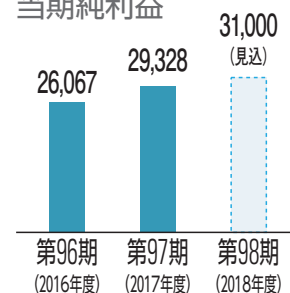
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する
当期純利益



第97期(2017年度)連結決算の概要

営業収益は5,246億6千万円と、前連結会計年度に比べ16億2千8百万円の増加(前期比0.3%増)となりました。

これに伴い、営業利益は514億6千4百万円と、前連結会計年度に比べ15億1千7百万円の増加(前期比3.0%増)となりました。

経常利益は478億9千1百万円と、前連結会計年度に比べ12億5千3百万円の増加(前期比2.7%増)となったほか、親会社株主に帰属する当期純利益は293億2千8百万円と、前連結会計年度に比べ32億6千万円の増加(前期比12.5%増)となりました。

第98期(2018年度)の見通し

百貨店業において、(株)小田急百貨店町田店および藤沢店のリニューアルに伴う店舗休業の影響を見込むものの、当社の鉄道事業において、複々線化に伴うダイヤ改正効果を見込むほか、不動産分譲業において、リノベーション物件等の販売の増加を見込むことなどから、営業収益は5,286億円(前期比0.8%増)を見込んでおります。

これに伴い、営業利益は520億円(前期比1.0%増)を見込んでおります。

また、経常利益は487億円(前期比1.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は310億円(前期比5.7%増)と、それぞれ増益を見込んでおります。

当社の中期経営計画について

当社グループでは、事業環境変化に対応しグループ経営理念の実現とさらなる事業成長を遂げるため、2020年度までに取り組むべき方向性を示した「長期ビジョン2020」を2015年4月に策定しました。

ここで、この「長期ビジョン2020」における前半3カ年を振り返るとともに、今般公表いたしました「長期ビジョン2020」の修正および後半3カ年の中期経営計画についてお知らせいたします。

詳細については3ページから6ページをご参照ください。

						(年度)
2015	2016	2017	2018	2019	2020	
長期ビジョン2020						
前回中期経営計画			新たな中期経営計画			